



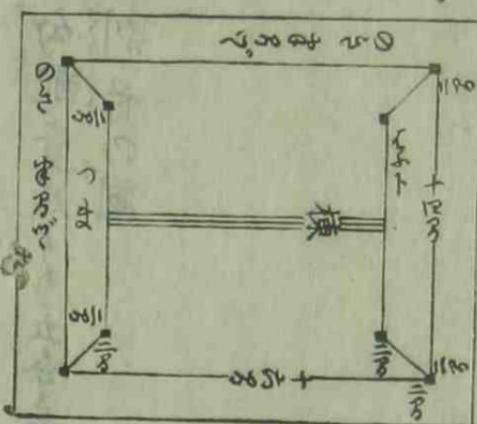






作車屋根坪積算

指厚はいさ長さ十六尺なり  
十四尺水より四方まわすつま二尺  
つちが軒破風つち七寸五ぶつ  
棟のまわりの二寸五ぶつを五寸  
二ぶつと五分と多うとさばや坪  
の積算をせしむ



平を根坪二百七坪九分五厘

是の二より四方の一坪なり

軒破風合七十二坪一分五厘

是の二より四方の一坪なり

角の坪七坪九分七厘

是の二より二より一坪なり

右を根坪のつりつちを向配の法と

そのつちのびとある時守二ぶつ配

のびき二七二ありとさ水より

とさ水より十尺なりが十六尺九分六厘

とさ水より十尺なりが十六尺九分六厘

を根のつちと又長さ十六尺の内両つち

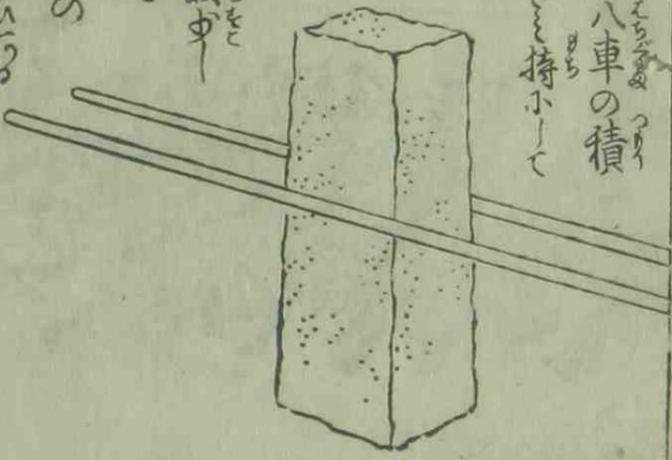
四角引張りの十二尺を根のつちと

是の右のま方のものを根のつちと

二百〇二坪八八分とさ水より二寸のけ

挾持の積り并大八車の積

は石尺坪七七つちを二寸持して  
尺坪一は二尺なり  
は五十四人して持て  
又大八車はのせる時  
人夫の挾持同共  
たいつれも大積人敷中  
持ても減ても持もく  
時の棟梁の功者人足  
の積りてがーの遠い  
べーまうれもけん大敷かくのどー但ー大木  
かゝる積りてがーの遠いものあり



栗石積算の高を算

〇うういー式千百十七坪二合なりけは壘場の地面

あがさ七十九尺と三十三尺と有

け場所積りては三寸何程は成る

りよ高へく高き五尺二寸と

右の式と七十九尺と三十三尺と

二六四六と成ると目安

有坪式千百十七坪を

八と成これ六五と成る

〇同三階積算を算

うういー二百五十一坪なり

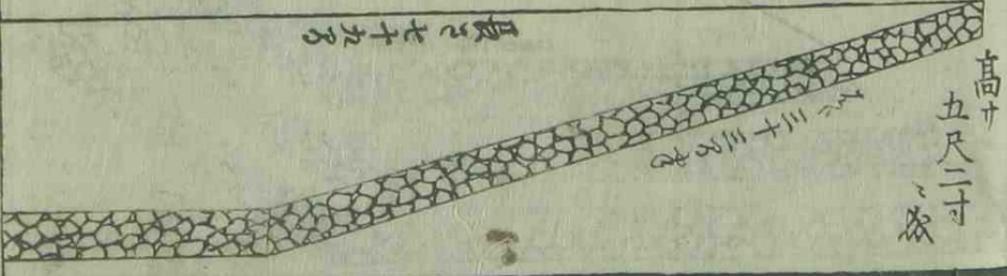
は壘場の地面を八尺あり

これまたのうういー三階積り

さすのちのうういー四方なり

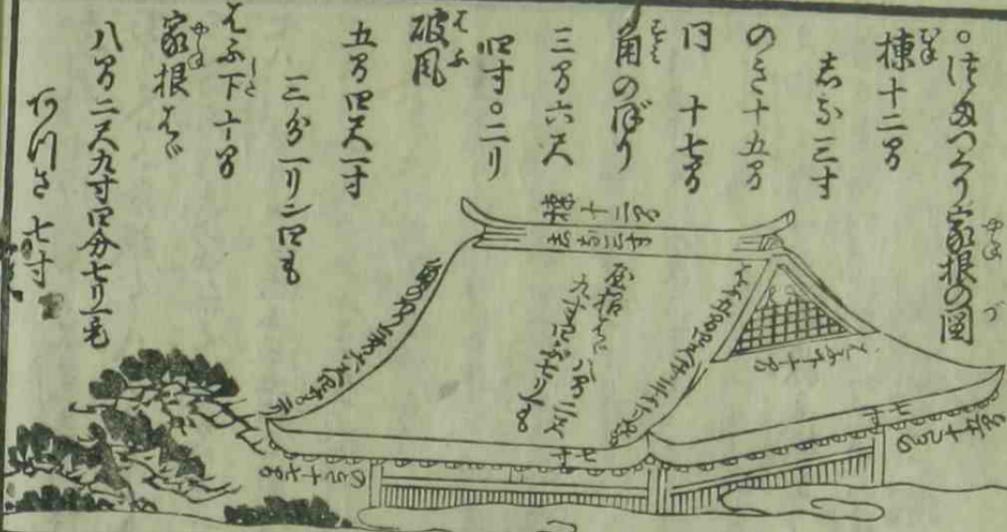
も一階がうういーの地行二階三階

づれも何程なりと成る



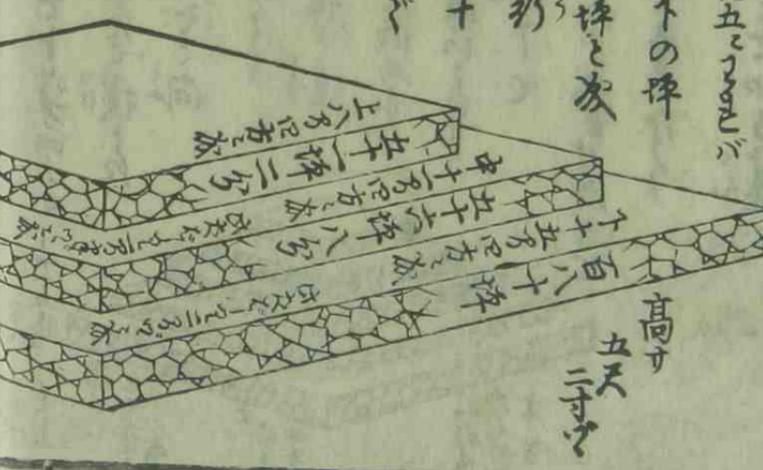


集解の巻目古圖會九片



○ほめつうぶ根の圖  
棟十二  
あふ三寸  
のこ十五  
日十七  
角のぼり  
三寸六分  
四寸ニリ  
破風  
五寸四寸  
三分リニはも  
とふ下十  
家根も  
八寸二寸五分七分毛  
ついで七寸

つじと下下の地筋より二階三階までのる敷又たふり  
何程かを見て算出りあむとつ下十五は方たまり  
二階中階十は方たまり二階上階八は方たまり  
是ハ八寸五分二寸五分を五寸五分に  
八寸五分を同安小して下の坪  
百八十坪とて二階二百九十五坪と次  
是で開平法をこれ下地筋  
十五は方と中階の坪九十  
六坪八寸と右の同安八寸が  
左は百廿二坪と分るを  
開平法をこれ中階の  
廣さ十一は方とあり  
又上階五十一坪二寸と  
同安八寸と刻ハ  
六十坪と分るを開平法



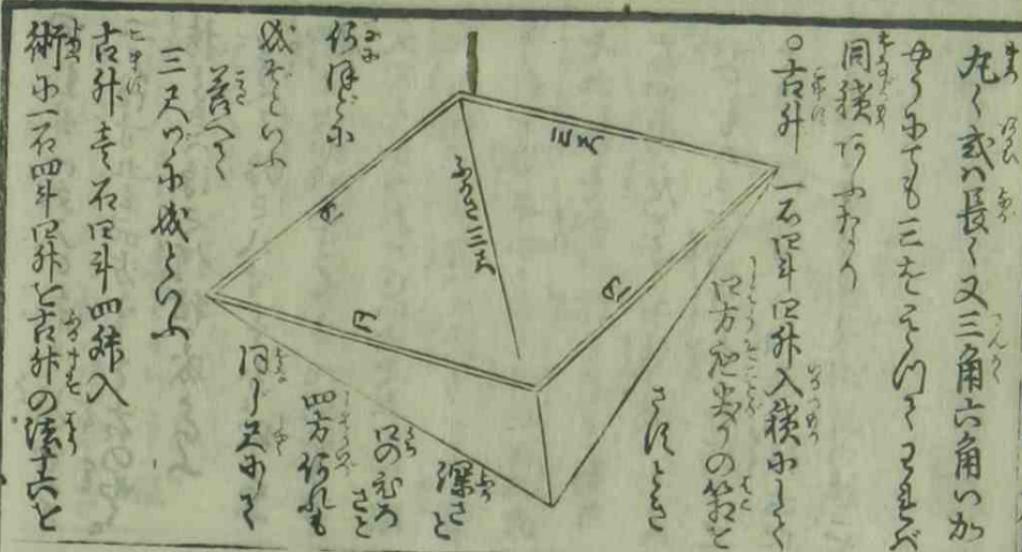
法行造  
引のより棟サの  
ついで七寸  
極面  
東西六  
南北五  
東  
北  
西  
五  
分  
七  
八  
五  
寸  
と  
云

これ上階のむろさ八は方と分る極面を  
下階のむろさ十五は方の内中階のむろさ十一は方と引ハ  
男先と二つより九は方と二階めの六は方と引ハ  
又中十一は方の内上八分を引ハ三は方と引ハ上階の  
むろさ八は方と分るを同安八寸と刻ハ  
○石段の積り分算  
石段のむろさ八は方と分るの土井長さ一丈三寸五分  
を二は方と引ハ土井八寸のついでと引ハ  
石二つのついでと引ハ  
ついで又踏と引ハ  
ついで又引ハ  
ついで又引ハ





以てこれに手内面の法より六寸と  
 見ゆる是の法統の法にてりけり  
 積三倍倍は是とそれと周之法  
 をしりては是の法四方より  
 きも二尺の法とまゝに法統の法  
 三の法より一尺四方深と寺法統  
 外法とてりては面より一尺  
 一尺の法は是と法統の深と五寸と  
 の法より一尺の法と五寸の法  
 と五寸の法とを法統三つある  
 且六尺正を両方より合せ相法と  
 五寸とけ法統の法三つあるは  
 一尺の法と五寸の法とを合せ  
 又口の法と両方とを合せ



右の商算も是の法にてりては又ありしよ  
 別々法とてりては

法	商
十	十
二十	

又法とてりては

古高	新高
十	十
二十	

又法とてりては

目安	大方	抽引	實
十	十	十	十
二十		二十	二十

故に十二は方とけりては

先づつが百に十は律をきこれと算とてりては

積	位見	實
十	十	十
二十		二十

十は方とて百の法とてりては

商	實
十	十
二十	

故に十二は方とけりては

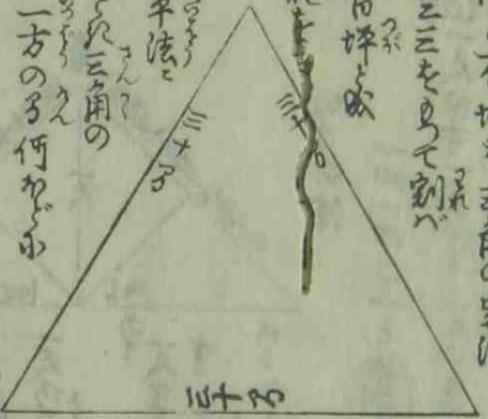






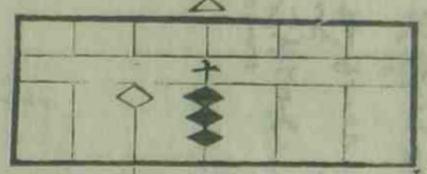
きつ四方の平坪三百八十九坪七分  
これを三角小して一方のちり海ど  
小成とらん

長(一)二十坪で小成とらん  
術は有坪を三角の定法  
四三二をりて割る  
九百坪と成  
それとらん  
開平法  
割る三角の  
め一方のちり何なり  
成とらん又右三角の坪数と  
けりうとらん八坪と両方小をりて  
うけ合せると四三二をりて割る

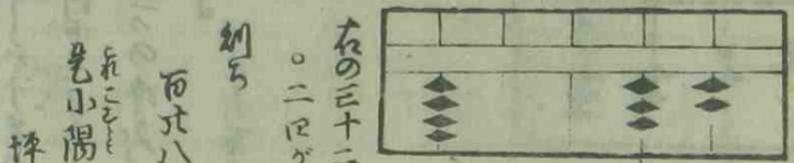
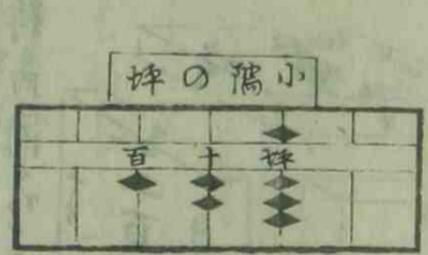


三百八十九坪七分とらん又  
三角の面三丈七寸三分のちり中  
のちり後一角より平へお出はる  
ちりちり  
三丈五寸八分ちり  
二丈五寸八分ちり  
法は三丈六寸三分ちり  
け三角の角より平へ二丈五寸八分  
いちちりともきとらん又坪は種を  
又坪三百八十九坪七分ちり  
術は二丈五寸八分を両方とらん  
うけ合せると一七三二とらん  
それ三百八十九坪七分とらん  
又二丈五寸八分を八分とらん  
うけ合せると三角の面ちり

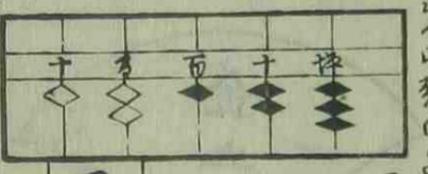
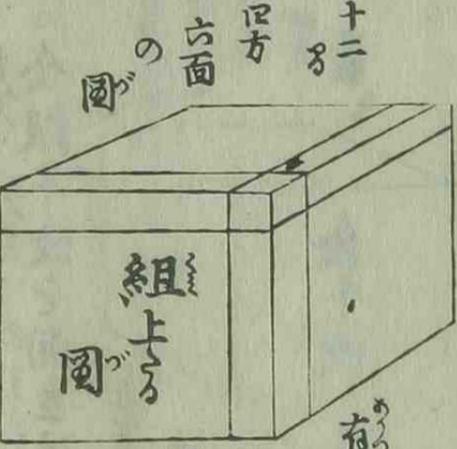
又らちりも高の大方十をりて  
割一三三と十をりて一三を掛らん



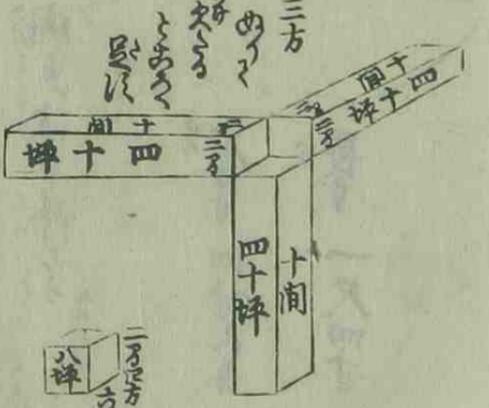
一三三と十をりて  
け一三三と十をりて  
らちり十をりて  
それのちり  
三とらん



右の三三二と十をりて  
二四八・三三二  
割らん  
百廿八坪と  
是小隔の  
坪とらん



正  
故に十二  
四六面  
ちりちり  
百廿八坪を  
引る



是割ちりて百廿八坪と  
有坪のちり  
千七百二十八坪

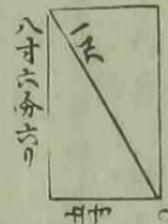
開平法と  
ちりちり

それと両方小量うけつるにせし三  
三をうけても用ひらる



三角の法四三三の初  
三角の法を  
四三三と定め  
面を三の三角  
寸坪は十三坪と  
おろす由へし  
先とあるを  
別より  
先定法に  
法求術  
三角の面を  
おろす由へし

八寸六分よりおろす先と面の法を  
二つよりして五寸とからしむに三三  
ある由へし先と三角の定法と



先とあるの三角と  
中よりつらう  
その中へ合せる  
つらう  
義乃ゆよのてあるのみ  
術は面を二を両方へ合せし合せ  
寸坪百坪又二を二つと刻  
五寸と両方小を合せし合せ五五坪  
廿五坪なり先と百坪のつらう

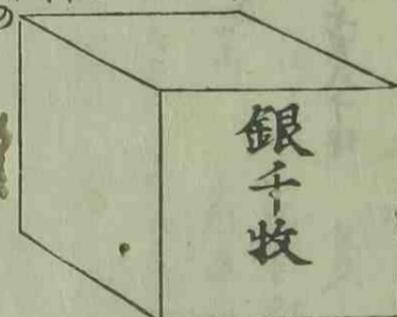
金銀千枚を測る法ゆく積る算



寸三分  
一リ三毛  
五条  
四方  
六面  
重サ  
四十四中自り  
先と百七十五分  
刻  
二百又十一坪四寸  
二リ八毛五条七忽  
先と測る法ゆく除る

厚サ 四寸六分  
長サ 一尺四寸

六寸七分四リ七毛四厘面  
目方



四寸  
三寸  
先と  
百坪  
八分  
二毛八条五忽七二  
これと測る法ゆく除る  
六寸七分四リ七毛四厘面と

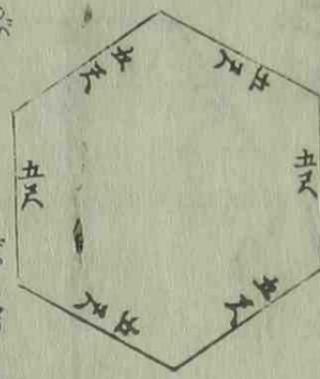
開平法の術 正圓術  
寸は四方半坪三千八百七十一坪これと先丸  
くさうしに何れも先とくさうしに七と先

余り七十又坪なりと開平法を  
 そのくくりとを別ら  
 八寸から六寸に二系と成すの二系は  
 八寸より八寸六分を法とす  
 是より八寸六分を法とす  
 又三角とより平へ八寸六分を  
 二角とより平へ八寸六分を  
 両方より合はし坪七十は  
 九寸五分と成すと本坪は二二二と  
 是より出さるなり

六角の法

〇二寸四方の坪六千四百五十五坪は  
 是と六角の二方外面積は  
 是より出さるなり

六角の圖



術は坪ふと六角の定法二五九八  
 とは刻の二五九八坪と成すと  
 開平法とす除くと六角の  
 是より出さるなり

算方金目古圖會九

術は有坪を法の七尺を  
 そのくくりと開平法と  
 これと除くと七尺と成すと  
 又は七尺と成すと成すと  
 是より出さるなり



又右の二二五七九二四とす  
 是より出さるなり

